

おとうふ工房いしかわはこのほど、第44回食品産業優良企業等表彰式で農林水産大臣賞を受賞した。15日、同時開催で令和4年度優良ふるさと食品中央コンクール表彰式も実施し、一般財団法人食品産業センターと公益財団法人食品等流通合理化促進機構が主催した。

審査経過説明では、お



石川取締役

とうふ工房いしかわが、国産大豆のみを使用した豆腐製造業では国内トップシェアを実現しており、地域の農業者を応援する仕組みの構築や、大豆の育種、生産者との播種前契約にも取り組んだことが紹介された。

そのほかにも、国産大豆を使った「きらず揚げ」の開発など、国産農林水

産物を利用した新商品の開発や、販売促進などにも尽力している。

謝辞は、おとうふ工房

いしかわの石川伸代表取締役が述べた。

「食品産業においては、コロナ禍が3年続き、厳しい経営環境、サプライ

責務を果たすために、より一層努力をしなければならぬ」と考えている」と述べた。

また、「今日受賞された方々と同様に、まずは国内の農業の深耕のために、一次産業でできたものを有効的かつ無駄のないように使うこと、そして三次産業の人々と協力して潤滑に、ロスがないよう消費者に届けることこそが、この問題を解決する全てだと考えている」とした。

## 農林水産大臣賞を受賞

おとうふ工房いしかわ

農業者を応援する仕組みが評価

チェーンの崩壊、そして原材料の高騰、ウクライナ情勢などによる燃料費の高騰など、多くの課題がある。そのような状況においても、食べるという行為は、なくてはならないと思う。その社会的

そのうえで、「そのためには多くの見識をもらい、新しい技術を開発し、その技術をもって日本の食品産業が世界へと羽ばたけることが非常に大切だ。食品産業の立場にいることを、胸を張って言えるように、これからますます努力し、日本の農業、日本の食品産業、そして日本という国をしっかり成長させていくことを約束する」と力強く語った。